

令和 9（2027）年度

学生募集要項

次世代研究者発掘入試 I

（総合型選抜 I）

工学部（材料工学科／化学工学科／融合基礎工学科／

地球資源システム工学科）・農学部



九州大学

KYUSHU UNIVERSITY

目 次

次世代博士人材育成コースについて	1
入試日程等	3
工学部	
1. アドミッション・ポリシー	4
2. 出願資格及び出願要件	4
3. 募 集 人 員	6
4. 入学者選抜方法	6
5. 研究コース・分野	7
6. 提出が必要な出願書類等	7
7. 入学準備	8
農学部	
1. アドミッション・ポリシー	9
2. 出願資格及び出願要件	10
3. 募 集 人 員	11
4. 入学者選抜方法	11
5. 研究コース・分野	12
6. 提出が必要な出願書類等	12
7. 入学準備	13
各学部共通事項	
1. 出 願 手 続	14
2. 提出が必要な出願書類等の提出先及び提出方法	16
3. 受験票の印刷について	17
4. 入学検定料の返還について	18
5. 入学検定料の免除について	18
6. 障害等のある入学志願者の合理的配慮について	18
7. 合 格 者 発 表	20
8. 入 学 手 続	21
9. 不正行為等の取扱い	22
10. 試験成績の開示	23
11. 個人用PC（ノート型）の必携について	24
12. 個人情報の取扱い	25
13. 修学場所について	26
入学案内・入学相談・九州大学 Web サイト	27
九州大学総合型選抜, 学校推薦型選抜及び国際入試実施状況（令和 8（2026）年度）	28
添 付 書 類	
提出書類（活動歴報告書・研究計画書, 志望理由書, 出願要件証明書）	

次世代博士人材育成コースについて

1. 次世代博士人材育成コースの概要

日本では、諸外国に比べ博士の学位を有する高度な専門人材が少ないことが、研究力やイノベーション力の低下、さらには国際競争力の低下の原因と言われています。この問題を解決するために、九州大学未来人材育成機構は、2027年4月に「次世代博士人材育成コース」を新たに設置します。「次世代博士人材育成コース」では、高校生段階から博士課程修了までの一貫した学びと手厚いサポートにより、我が国の科学技術イノベーションの創出を担う博士人材の育成を目指します。

※本コースは、学部入学後、修士課程を経て博士後期課程まで進学することを前提としたコースであり、その趣旨を理解した者のみが受験できます。

また、修士課程及び博士後期課程への入学・進学に際しては別途、大学院入試に合格する必要があります。

2. 次世代博士人材育成コースの特徴

(1) 高校生段階から博士課程修了までの一貫した学び

通常の学生は、学部3・4年次の研究室配属後に、本格的な研究活動を開始しますが、次世代博士人材育成コースのコース生は、入学後すぐに研究インターンシップ・研究室配属が開始されますので、早期に研究活動に従事することができます(但しコース生の所属する学部・学科の研究室に限る)。これにより、研究へのモチベーションを維持したまま、博士課程修了まで研究活動に取り組むことができます。

(2) 成長の可能性を拡げる柔軟なカリキュラム

「次世代博士人材育成コース」では、専攻教育科目の先取り履修、入学前教育や英語外部試験のスコアによる単位認定などの制度を設置予定です。これらの制度を活用して空いた時間を使って、研究活動にさらに邁進したり、副専攻プログラムの受講により広く教養を深めたりすることができます。

さらに、各学府が定める修了要件を満たした上で、優秀な成績を修得した場合は、早期修了が認められる場合があります。

(3) 若手研究者スクエアやセミナーで広がる研究の世界

「次世代博士人材育成コース」の在籍生や修了生を主要メンバーとするコミュニティである「若手研究者スクエア」では、所属や学年を超えた学生や大学院生同士の交流に加え、企業の方などとの交流が行われます。研究志向の高い仲間たちと意見交換することで、刺激を受け、新たな視点やアイデアを得ることに繋がります。

また、本学の中で、特に優れた研究業績を有し、研究をリードする主幹教授等によるセミナーを、コース生を対象に開催します。このセミナーを通して、社会の様々な分野で関わっている最先端の研究の歴史的背景から現在の研究状況、そして、研究の未来を知る機会を提供し、更なる研究意欲の向上を図ることができます。

(4) 手厚いサポート体制

博士課程学生を除くコース生に対して、年間 50 万円の奨学金を支給します（博士課程学生は別の支援制度あり）。

さらに、指導教員に加え、各学部・学科から選出されたメンターや未来人材育成機構教員が研究計画やキャリアパスについての指導・助言を行います。

3. 次世代博士人材育成コースのアドミッション・ポリシー

- (1) 当該分野の基盤となる基礎的な知識・理解を十分に有している。（知識・理解）
- (2) 自ら研究課題を設定し、国際的視野を持って論理的・持続的に科学研究活動を推進できる。（能力・意欲）
- (3) 自立した学問的探究心と高い知的好奇心を持ち、アクティブ・ラーナーとしてコースで学び続ける姿勢を持っている。（態度・志向性）
- (4) 当該分野の発展に向けて、他分野の知識も学ぼうとする意欲を持っている。（態度・志向性）

4. 次世代研究者発掘入試を実施する学部・学科

(1) 次世代研究者発掘入試Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

- ・工学部（材料工学科，化学工学科，融合基礎工学科，地球資源システム工学科）
- ・農学部

(2) 次世代研究者発掘入試Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

- ・工学部（電気情報工学科，材料工学科，応用化学科，化学工学科，融合基礎工学科，地球資源システム工学科）
- ・農学部

※次世代研究者発掘入試Ⅱ（総合型選抜Ⅱ）の出願を希望する者は、別途、次世代研究者発掘入試Ⅱ（総合型選抜Ⅱ）の募集要項を参照のうえ、出願してください。

なお、次世代研究者発掘入試Ⅰに出願した場合、本学の実施する総合型選抜（次世代研究者発掘入試Ⅱを含む）、学校推薦型選抜、国際入試（教育学部）への出願はできませんのでご注意ください。

次世代博士人材育成コースのカリキュラムは、今後変更される場合があります。

詳細につきましては、九州大学次世代博士人材育成コースのホームページでご確認ください。

（次世代博士人材育成コース）

<https://nextphd.mirai.kyushu-u.ac.jp/>

入 試 日 程 等

	次世代研究者発掘入試Ⅰ（総合型選抜Ⅰ）	
	工 学 部 材料工学科 化学工学科 融合基礎工学科 地球資源システム工学科	農 学 部
願 書 受 付	令和8（2026）年9月1日（火）～9月4日（金）17時まで（必着） ※Web入力及び入学検定料の支払は8月25日（火）10時から可能です	
第 1 次 選 抜	9月中旬～10月上旬	
第 1 次 選 抜 結 果 の 発 送	10月9日（金）頃	
受 験 者 の 受 験 票 の 印 刷	10月14日（水）頃	
第 2 次 選 抜	10月24日（土）	
合 格 者 発 表	11月25日（水）11時頃	
入 学 手 続	12月7日（月）13時～12月11日（金）17時まで （入学料の納付(Web 手続)）	
入学料の納付以外の手続き	令和9（2027）年2月10日（水）頃 入学料の納付以外の学生生活手続書類送付	
	2月11日（木）13時～2月17日（水）17時まで 所定の期間内に、「Web 入学手続」及び「入学手続書類の郵送」を完了させてください。詳細は、21 ページ「10. 入学手続(1)入学手続方法」を参照してください。	

工 学 部

1. アドミッション・ポリシー

工学部のアドミッション・ポリシー

高等学校等までに学習した国語、英語、数学、理科、社会、情報の学力を有したうえで、物理学や化学など自然科学の原理と法則を理解し、幅広い教養と倫理観および国際的視野を併せ持って文明の持続的発展を支える「ものづくり」を先導する技術者、研究者として成長したいという強い意欲と適性を持った者を求めます。

これらに加え、各学科（コース）で総合型選抜において求める人材（アドミッション・ポリシー）を定めています。

○材料工学科のアドミッション・ポリシー

自然科学と材料工学に関する学問を深く学ぶために必要な基礎的能力を身に付ける努力をいとわず、それらに関連する仕事に携わりたいという希望や意欲を持ち、一定の教養と倫理観を身につけている者を求めます。

○化学工学科のアドミッション・ポリシー

環境・エネルギー、材料、バイオテクノロジー・先進医療などに関連する工学に興味をもち、学習する強い意欲と正しい倫理観をもって、将来的に地球環境との調和や人類の福祉に貢献したいと考える者を求めます。

○融合基礎工学科のアドミッション・ポリシー

基礎学力及び自分の考えを論理的に説明できる能力を備え、本学科・本コースに関連する学問を積極的に学ぶ意欲と自主性を有する者を求めます。

（物質材料コース）

特に、持続可能な社会の実現に資する物質・材料開発に興味をもち、高い倫理観とグローバルな視点を併せ持つ者を求めます。

（機械電気コース）

特に、数学、物理などの自然科学や機械工学・電気電子工学分野に対する強い知的探究心を持ち自ら学ぶ意欲のある者、専門知識の融合による多角的視点から、エネルギーや環境等の社会問題の解決に意欲のある者を求めます。

○地球資源システム工学科のアドミッション・ポリシー

国際的に展開される地下資源の開発と供給、国内外における自然災害の防止技術の開発や地球環境への負荷を軽減する諸技術の開発を担い、グローバルな視点から社会に貢献する問題発見と問題解決に取り組むことに意欲を有する者を求めます。

2. 出願資格及び出願要件

次の出願資格のいずれかに該当する者で、下記の出願要件を満たし、次世代研究者発掘入試を実施する本学工学部のいずれかの学科・コースを第1志望とする者

○出願資格

- ア) 高等学校若しくは中等教育学校を令和7年(2025)年4月以降に卒業した者及び令和9(2027)年3月までに卒業見込みの者

- イ) 通常の課程による 12 年の学校教育を令和 7 年（2025）年 4 月以降に修了した者及び令和 9（2027）年 3 月までに修了見込みの者
- ウ) 学校教育法施行規則第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、令和 7 年（2025）年 4 月以降にこれに該当するもの及び令和 9（2027）年 3 月までにこれに該当する見込みのもの

○出願要件

ア) 高等学校又は中等教育学校等の高等学校に相当する期間において、以下の①～⑧に記載している項目に当てはまる顕著な活動実績を修めている者（ただし、発表会やコンテスト等において、複数人で発表・研究した場合は、出願要件証明書に人数を記載してください。）

- ① サイエンスカンファレンス（高校の部）発表
（グローバルサイエンスキャンパス（GSC）全国受講生研究発表会の出場者）
- ② スーパーサイエンスハイスクール（SSH）生徒研究発表会（文部科学省等主催）の出場者
- ③ 国際学生科学技術フェア（ISEF）の参加者
- ④ 日本学生科学賞の中央最終審査に進出者
- ⑤ 高校生・高専生科学技術チャレンジ（JSEC）最終審査進出となった者
- ⑥ 国際科学オリンピック（数学オリンピック、物理オリンピック、化学オリンピック、生物学オリンピック等）において、日本代表として世界大会に出場した者
- ⑦ 「九州大学未来創成科学者育成プロジェクト（QFC-SP）」リサーチコース修了者（修了見込みの者を含む）
- ⑧ 上記以外の自由研究や課題研究で①～⑦と同等の優れた発表を公的に証明できる者

※出願期間最終日（令和 8 年 9 月 4 日）までに⑦以外の発表会等に出場しておらず、出願要件証明書を提出できない場合は、出願できません。

- イ) 本コース及び本学部・学科が掲げるアドミッション・ポリシーで求める学生像に一致する者
- ウ) 志望学部・学科における修学に加え「次世代博士人材育成コース」で学び、博士課程へ進学する強い志がある者
- エ) 合格した場合に、必ず入学することを確約できる者

なお、出願資格及び出願要件について不明な点がある場合は、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係（TEL：092-802-2006）にお問い合わせください。

（注意）

- (1) 本選抜の趣旨から、本学の次世代研究者発掘入試、総合型選抜、学校推薦型選抜、及び国際入試（教育学部）との併願は認めません。
- (2) 本学部の次世代研究者発掘入試（総合型選抜）に出願した場合でも、本学を含む国公立大学の一般選抜に出願することができます。

3. 募集人員

若干名（材料工学科／化学工学科／融合基礎工学科／地球資源システム工学科）

4. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、第1次選抜及び第2次選抜により行います。

(1) 第1次選抜

ア. 提出された調査書又は調査書に代わる書類、活動歴報告書・研究計画書及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。

イ. 第1次選抜の結果は、令和8年（2026）年10月9日（金）頃に郵便で発送します。

(2) 第2次選抜

ア. 選抜方法

- ・第1次選抜の合格者に対し、プレゼンテーション、その内容等に関する口頭試問の総合評価により選抜を行います。
- ・知識、理解、能力、態度、志向性等を評価します。
- ・試験時間は受験者1人につき30分です。

（プレゼンテーション10分程度、口頭試問20分程度）

イ. プレゼンテーション

- ・高大連携事業等の各種研究プログラムにおける研究実績を基にしたプレゼンテーションを行います。

プレゼンテーションは、出願時に提出した志望理由書および活動歴報告書・研究計画書を用いて行います。そのため、第2次選抜にあたり、プレゼンテーション資料を新たに作成する必要はありません（提出された志望理由書および活動歴報告書・研究計画書のコピー1部を試験会場でお渡しします）。

ウ. 口頭試問

- ・プレゼンテーション終了後、引き続き口頭試問を行います。

エ. 実施日時及び実施方法

期 日	時 間	実施方法
10月24日（土）	9：00～17：00 頃	当日、各人に通知します。

- ・集合時刻及び集合場所は第1次選抜合格通知の際に指定します。合格者は受験票及び第1次選抜合格通知書を持参の上、指定された時刻に指定された場所に集合してください。

- ・試験時間中（9：00～17：00 頃）は、各自の口頭試問終了まで外出できませんので必ず昼食をご用意ください。

- ・遅刻による試験室への入室制限時刻は、予め定められた試験開始時刻から30分以内です。なお、交通機関の事故またはやむを得ない事由により遅刻した者は、試験監督者に申し出てください。

(3) 合否判定の基準

ア. 第1次選抜

提出された調査書又は調査書に代わる書類、活動歴報告書・研究計画書、志望理由書について、評価し、各評価を合わせて3段階（A・B・C）で総合評価します。

イ. 第2次選抜

プレゼンテーションと口頭試問を合わせて評価し、第1次選抜の評価を加えて3段階（A B C）で総合評価します。

5. 研究コース・分野

出願の際は、志望学科に加え、以下に記載されている研究分野またはコース名を選択してください。

- (1) 材料工学科（冶金物理化学分野，構造用金属科学分野，機能材料科学分野）
- (2) 化学工学科（バイオテクノロジー分野，環境・エネルギー分野，マテリアルデザイン分野）
- (3) 融合基礎工学科（物質材料コース，機械電気コース）
- (4) 地球資源システム工学科（応用地質学分野，物理探査学分野，地球熱システム学分野，資源開発工学分野，岩盤・開発機械システム工学分野，資源処理・環境修復工学分野，エネルギー資源工学分野）

※次世代博士人材育成コース（<https://nextphd.mirai.kyushu-u.ac.jp/>）に参画する指導教員リストが掲載されていますので、研究分野等を選択する際、ご参考にしてください。

6. 提出が必要な出願書類等

新型コロナウイルス感染症の影響により、学校での活動、大会や資格・検定試験等の結果を記載できない場合、その活動に関する努力のプロセスを記載してください。

ア. 調査書

在学又は出身学校長が文部科学省で定めた様式により当該年度に作成し、厳封したものを提出してください。なお、調査書を提出できない者については、次の書類を提出してください。

① 高等学校卒業程度認定試験合格者

合格成績証明書及び免除科目がある場合は学校長が発行した当該科目の成績証明書

② 出願資格に該当する者のうち上記①以外の者

修了（見込）証明書又は資格（取得見込）証明書及び成績証明書

また、本学において個別の入学資格審査を受けた者は、本学が交付した「九州大学受験資格認定書（写）」を添付してください。

上記書類を提出できない者は事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係へお問い合わせください。

イ. 活動歴報告書・研究計画書

高等学校在学中に取り組んだ研究活動や入学後に取り組みたい課題について、本学 Web サイト募集要項画面に掲載の様式に、自筆または PC 等で作成し、提出してください。

活動歴については、工学部の志望理由に関係のある事項に限定して記載してください。

ウ. 志望理由書

所定の様式に、志願者本人が自らの考えを基に作成し、自筆で作成したものを提出してください。

エ. 出願要件証明書（既卒生も含む）

出身学校長または記載責任者が、所定の様式に、自筆または PC 等で作成し、提出してください。

※4 ページ記載の 2. 出願資格及び出願要件のとおり、出願期間最終日（令和 8 年 9 月 4 日）までに⑦以外の発表会等に出場しておらず、出願要件証明書を提出できない場合は、出願できません。

※各様式は、本学 Web サイトの「入試・入学」→「学部入試」→「大学案内・入学者選抜概要・募集要項」からダウンロードしてください。必ず当該年度の様式を使用してください。

※志望理由書は、必ず志願者本人が自筆にて作成してください。志願者以外の者（生成系 AI ツールを含む）により作成したことが認められる場合や剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学許可を取り消すことがあります。

※提出された書類の返却には応じませんので、ご注意ください。

7. 入学準備

本学部の次世代研究者発掘入試Ⅰ（総合型選抜Ⅰ）に合格した者には、入学までの期間の勉強の仕方や心構え等準備いただきたい内容をまとめた「入学までの心構え」をお送りします。この「入学までの心構え」を必ず読んで、自身に必要なものを考え、入学の準備をしてください。この詳細は、合格通知書とともに送付します。

農 学 部

1. アドミッション・ポリシー

◆求める学生像

農学部では、生物生産、生物機能、生物環境等の学問分野において専門性及び技術を習得し、課題解決能力と国際的視野を併せ持つ人材を育成することを主眼とした教育を行っています。そのために、農学部では以下のような学生を求めています。

- ①生物生産、生物機能、生物環境等の農学関連分野に強い関心を有し、将来これらの分野で活躍を目指す意欲的な学生。
- ②農学部の教育・研究は、自然科学から社会科学にまで及ぶ広範な基礎科学と応用科学に立脚しているので、幅広い教養と専門的知識とともに修学できるバランス感覚を備えた学生。
- ③国際的に活躍する土台となる高度な語学能力を持ち、自己の語学能力の向上に熱心な学生。

◆求める学生像と学力3要素との関連

- ①知識・技能：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。特に、大学での生物、化学、物理等の学習に必要な理系科目の十分な素養と基本的な英語力。
- ②思考力・判断力・表現力等の能力：多面的に考え、客観的に批判し、自分の言葉で人に伝える資質。特に物事を理論的に把握する能力。
- ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：生物生産、生物機能、生物環境等の農学関連分野への強い関心。多様性を尊重する態度、異なる考えに共感する寛容性。他人の意見を尊重しつつも積極的に議論する姿勢。

◆入学選抜方法

求める学生像と学力3要素と入学選抜方法との関係については、「選抜方法に関する別表」のとおりである。

選抜方法に関する別表

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書
総合型選抜	大学入学共通テスト	小論文 個人面接	志望理由書 個人面接 調査書
次世代研究者 発掘入試Ⅰ	調査書 活動歴報告書・研究計画書	志望理由書 活動歴報告書 口頭試問	志望理由書 プレゼンテーション 口頭試問 調査書

国際型入試	大学入学共通テスト 統一試験 (EJU, SAT, GCE 等)	個人面接	志望理由書 個人面接
-------	--	------	---------------

2. 出願資格及び出願要件

次の出願資格のいずれかに該当する者で、下記の出願要件を満たし、次世代研究者発掘入試を実施する本学農学部のあるいずれかのコース、分野を第 1 志望とする者

○出願資格

- ア) 高等学校若しくは中等教育学校を令和 7 年(2025)年 4 月以降に卒業した者及び令和 9(2027)年 3 月までに卒業見込みの者
- イ) 通常の課程による 12 年の学校教育を令和 7 年(2025)年 4 月以降に修了した者及び令和 9(2027)年 3 月までに修了見込みの者
- ウ) 学校教育法施行規則第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、令和 7 年(2025)年 4 月以降にこれに該当するもの及び令和 9(2027)年 3 月までにこれに該当する見込みのもの

○出願要件

- ア) 高等学校又は中等教育学校等の高等学校に相当する期間において、以下の①～⑧に記載している項目に当てはまる顕著な活動実績を修めている者。(ただし、発表会やコンテスト等において、複数人で発表・研究した場合は、出願要件証明書に人数を記載してください。)

- ① サイエンスカンファレンス（高校の部）発表
(グローバルサイエンスキャンパス (GSC) 全国受講生研究発表会の出場者)
- ② スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 生徒研究発表会（文部科学省等主催）の出場者
- ③ 国際学生科学技術フェア (ISEF) の参加者
- ④ 日本学生科学賞の中央最終審査に進出者
- ⑤ 高校生・高専生科学技術チャレンジ (JSEC) 最終審査進出となった者
- ⑥ 国際科学オリンピック（数学オリンピック、物理オリンピック、化学オリンピック、生物学オリンピック等）において、日本代表として世界大会に出場した者
- ⑦ 「九州大学未来創成科学者育成プロジェクト (QFC-SP)」リサーチコース修了者（修了見込みの者を含む）
- ⑧ 上記以外の自由研究や課題研究で①～⑦と同等の優れた発表を公的に証明できる者

※出願期間最終日（令和 8 年 9 月 4 日）までに⑦以外の発表会等に出場しておらず、出願要件証明書を提出できない場合は、出願できません。

- イ) 本コース及び本学部・学科が掲げるアドミッション・ポリシーで求める学生像に一致する者。
- ウ) 志望学部・学科における修学に加え「次世代博士人材育成コース」で学び、博士課程へ進学する強い志がある者

エ) 合格した場合に、必ず入学することを確約できる者

なお、出願資格及び出願要件について不明な点がある場合は、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係（TEL：092-802-2006）にお問い合わせください。

（注意）

- (1) 本選抜の趣旨から、本学の次世代研究者発掘入試、総合型選抜、学校推薦型選抜、及び国際入試（教育学部）との併願は認めません。
- (2) 本学部の次世代研究者発掘入試（総合型選抜）に出願した場合でも、本学を含む国公立大学の一一般選抜に出願することができます。

3. 募集人員

若干名

4. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、第1次選抜及び第2次選抜により行います。

(1) 第1次選抜

- ア. 提出された調査書又は調査書に代わる書類、活動歴報告書・研究計画書及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。
- イ. 第1次選抜の結果は、令和8年（2026）年10月9日（金）頃に郵便で発送します。

(2) 第2次選抜

ア. 選抜方法

- ・第1次選抜の合格者に対し、プレゼンテーション、その内容等に関する口頭試問の総合評価により選抜を行います。
- ・知識、理解、能力、態度、志向性等を評価します。

イ. プレゼンテーション

- ・高大連携事業等の各種研究プログラムにおける研究実績を基にしたプレゼンテーションを受験者1人につき10分間行います。

プレゼンテーション資料はパワーポイントで作成し、活動歴報告書・研究計画書と併せて出願時に提出してください。試験当日はPCを使用せず口頭で発表してもらいますので、プレゼンテーション資料1部を参照用に持参してください（メモ等の書き込みは不可）。プレゼンテーション資料及び発表で使用可能な言語は日本語または英語とします。言語選択による有利不利（加点や減点）はありません。

ウ. 口頭試問

- ・プレゼンテーションの後に口頭試問を行います。口頭試問の時間は、受験者1人につき20分間です。

エ. 実施日時及び実施方法

期 日	時 間	実施方法
10 月 24 日 (土)	9 : 00～17 : 00 頃	当日, 各人に通知します。

- ・集合時刻及び集合場所は第 1 次選抜合格通知の際に指定します。合格者は受験票及び第 1 次選抜合格通知書を持参の上, 指定された時刻に指定された場所に集合してください。
- ・試験時間中 (9 : 00～17 : 00 頃) は, 各自の口頭試問終了まで外出できませんので各自必ず昼食をご用意ください。
- ・遅刻による試験室への入室制限時刻は, 予め定められた試験開始時刻から 30 分以内です。なお, 交通機関の事故またはやむを得ない事由により遅刻した者は, 試験監督者に申し出て下さい。

(3) 合否判定の基準

ア. 第 1 次選抜

提出された調査書又は調査書に代わる書類, 活動歴報告書・研究計画書, 志望理由書について評価し, 各評価を合わせて 3 段階 (A B C) で総合評価します。

イ. 第 2 次選抜

プレゼンテーションと口頭試問を合わせて評価し, 第 1 次選抜の評価を加えて 3 段階 (A B C) で総合評価します。

5. 研究コース・分野

出願の際は, 以下の希望するコース, 分野を選択してください。

- (1) 生物資源生産科学コース (農学分野・生物生産環境工学分野・生物生産システム工学分野)
- (2) 地球森林科学コース (地球森林科学分野)
- (3) 動物生産科学コース (アニマルサイエンス分野・水産科学分野)

※指導可能な教員及び研究内容について, 次世代博士人材育成コース (<https://nextphd.mirai.kyushu-u.ac.jp/>) に掲載されています。出願に際して予め参照してください。

6. 提出が必要な出願書類等

新型コロナウイルス感染症の影響により, 学校での活動, 大会や資格・検定試験等の結果を記載できない場合, その活動に関する努力のプロセスを記載してください。

ア. 調査書

在学又は出身学校長が文部科学省で定めた様式により当該年度に作成し, 厳封したものを提出してください。なお, 調査書を提出できない者については, 次の書類を提出してください。

① 高等学校卒業程度認定試験合格者

合格成績証明書及び免除科目がある場合は学校長が発行した当該科目の成績証明書

② 出願資格 ウ) に該当する者のうち上記①以外の者

修了（見込）証明書又は資格（取得見込）証明書及び成績証明書

また、本学において個別の入学資格審査を受けた者は、本学が交付した「九州大学受験資格認定書（写）」を添付してください。

上記書類を提出できない者は事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係へお問い合わせください。

イ. 活動歴報告書・研究計画書

高等学校在学中に取り組んだ研究活動や入学後に取り組みたい課題について、本学 Web サイト募集要項画面に掲載の様式に、自筆または PC 等で作成し、提出してください。

活動歴報告書については、農学部志望理由書に関係ある事項に限定して記載してください。

ウ. 志望理由書

所定の様式に、志願者本人が自らの考えを基に作成し、自筆で作成したものを提出してください。

エ. 出願要件証明書（既卒生も含む）

出身学校長または記載責任者が、所定の様式に、自筆または PC 等で作成し、提出してください。

※10 ページ記載の 2. 出願資格及び出願要件のとおり、出願期間最終日（令和 8 年 9 月 4 日）までに⑦以外の発表会等に出場しておらず、出願要件証明書を提出できない場合は、出願できません。

*各様式は、本学 Web サイトの「入試・入学」→「学部入試」→「大学案内・入学者選抜概要・募集要項」からダウンロードしてください。必ず当該年度の様式を使用してください。

*志望理由書は、必ず志願者本人が自筆にて作成してください。志願者以外の者（生成系 AI ツールを含む）により作成したことが認められる場合や剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学許可を取り消すことがあります。

*提出された書類の返却には応じませんので、ご注意ください。

7. 入学準備

本学部の次世代研究者発掘入試 I（総合型選抜 I）に合格した者には、入学までに備えていただきたい勉強方法や心構えなどをまとめた「入学までの心構え」をお送りします。この「入学までの心構え」を必ず読んで、自身に必要なものを考え、入学の準備をしてください。この詳細は、合格通知書とともに送付します。

各 学 部 共 通 事 項

1. 出願手続

(1) 出願方法

インターネット出願

- | | | |
|--|---|-------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ① インターネットにより、<u>志望情報等を入力</u>する。 ② <u>証明写真をアップロード</u>する。 ③ <u>入学検定料を支払う</u>。 ④ 調査書等の<u>提出に必要な出願書類等を郵送</u>する。 | } | <p>①～④の
すべての手続きを行います。</p> |
|--|---|-------------------------------|

く 注 意

インターネット出願は、インターネットでの入力及び入学検定料の支払を行っただけでは出願手続完了にはなりません。以下の期間内に必要な出願書類等が到着するように、書留・速達郵便（日本国外から出願する場合は、EMS等の最速の国際郵便）で郵送する必要があります。

※ 障害がある等でインターネット出願の利用が難しい方は、九州大学学務部入試課入試企画・広報係（TEL：092-802-2006）へ相談してください。

(2) 出願期間等

事 項	期 間
Web 入力及び入学検定料の支払 (注1)	令和8(2026)年8月25日(火)10時から 9月4日(金)17時まで
【出願受付期間】 「提出が必要な出願書類等」の郵送 (注2)(注3)(注4)	令和8(2026)年9月1日(火)から 9月4日(金)17時まで(必着)

注意事項

- (注1) 「Web 入力及び入学検定料の支払」期間内に入力及び支払手続を行ってください。なお、出願登録完了後は、ご自身で入力事項の変更はできません。
- (注2) 「提出が必要な出願書類等」の郵送は郵便事情を考慮し、期間内に必着するように手続きしてください。
- (注3) 「提出が必要な出願書類等」の提出方法は原則郵送となります。
ただし、出願期間最終日（郵送では必着できない場合）のみ、9時から17時まで、九州大学学務部入試課への持参が可能です。
- (注4) 「提出が必要な出願書類等」の受領確認は日本郵便の郵便追跡サービスサイトでご確認ください。郵便追跡サービスサイトでは書類の郵送時に郵便局から交付された「受領証」にあるお問い合わせ番号（引受番号）を利用して確認することができます。
- (注5) 出願登録完了時に表示される「セキュリティコード」は、入学手続時にも使用しますので、出願登録完了後もメモを保管してください。

(3) Web 入力の方法

必要な情報について、インターネットを利用して入力します。

インターネット出願のページへは、九州大学 Web サイトからアクセスできます。

アクセスページ

九州大学 Web サイト

トップページ > 入試・入学 > 学部入試 > インターネット出願

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/admission/faculty/internet/>



出願登録方法は、以下のサイトにて説明していますので、出願前にご確認ください。

九州大学 インターネット出願ガイダンスサイト

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-kyushu-u/how/>



○インターネット出願の操作等に関する不明点等は、次の連絡先に問い合わせてください。

志願受付操作サポート窓口	受付期間 8月25日（火）～9月4日（金） 9時から20時まで	TEL 0120-752-257
--------------	---------------------------------------	------------------

(4) 入学検定料支払の方法

入学検定料：17,000 円

詳しい支払方法については、出願登録完了後の「入学検定料のお支払い」ページにより確認してください。

入学検定料の他に別途必要なサービス利用料は、志願者負担となります。

① クレジットカード 日本~~国内~~／~~国外~~で利用可能

出願登録完了後、入学検定料のお支払サイトにより、決済を完了させてください。右のクレジットカードで支払うことができます。

なお、クレジットカードの名義は、志願者と同一である必要はありません。

支払方法は一括払いのみです。

クレジットカードの利用限度額を確認した上で利用してください。

② コンビニエンスストア 日本~~国内~~のみ利用可能

現金での支払となります。

名称
VISA
MasterCard
JCB
AMERICAN EXPRESS
Diners Club Card

ローソン、 ミニストップ	「Loppi」で手続後、レジにて現金で支払
ファミリーマート	「マルチコピー機（旧 Fami ポート端末）」で手続後、レジにて現金で支払
デイリーヤマザキ	店頭レジで「オンライン決済」と店員に伝えて手続後、レジにて現金で支払
セイコーマート	店頭レジにて現金で支払

セブン-イレブン	レジで「払込票番号」を店員に伝えるか、印刷した「払込票」を渡して現金で支払（※） （※）マルチコピー機は使用しません
----------	---

※ 最新情報は、インターネット出願 Web サイトで確認してください。

③ 金融機関 ATM【Pay-easy】 日本国内のみ利用可能

支払可能金融機関で Pay-easy マークの付いている ATM で支払うことができます。

ATM で「税金・料金払込み」又は「Pay-easy」を選択し、手続きしてください。



④ ネットバンキング 日本国内のみ利用可能

都市銀行、地方銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協、漁協などのネットバンキングを利用することができます。事前に金融機関にて申込みが必要です。

また、楽天銀行、PayPay 銀行、au じぶん銀行、住信 SBI ネット銀行でも支払うことができます。この場合、事前に金融機関にて口座の開設が必要です。

ネットバンキングの契約をしている金融機関を選択し、ログイン後手続きしてください。

2. 提出が必要な出願書類等の提出先及び提出方法

① 提出封筒の準備

(ア) 必ず、角形 2 号封筒（横 24cm×縦 33.2cm で A 4 サイズの書類を折らずに入れることができる封筒）を使用してください。

長形 3 号封筒（横 12cm×縦 23.5cm）は使用できません。



長形 3 号封筒



角形 2 号封筒

(イ) 出願登録完了画面から（図 1）の「封筒貼付用宛名ラベル」を印刷し、(ア)の封筒の表（宛名）面に貼付してください。

封筒貼付用宛名ラベルを印刷することを強く推奨しますが、「宛名ラベル」を印刷することができない場合は、（図 2）の【封筒貼付用宛名ラベルが印刷できない場合】の記載見本を直接、封筒の表（宛名）面に記載してください。

書留・速達の表示も縦書き・赤字で記入（又は郵便局窓口で押印を依頼）してください。

（図 1）【封筒貼付用宛名ラベル】の印刷見本

速 達	
切手	〒819-0395 福岡市西区元岡 744
書留・速達	九州大学学務部入試課 入試企画・広報係 御中
	出願番号：*****
	入試制度：総合型選抜Ⅰ（次世代研究者発掘入試Ⅰ）
	出願学部・学科等：〇〇学部
〒〇〇〇-〇〇 △△県□□市◇◇町 1-2-3 ☆☆ ☆☆	

（図 2）【封筒貼付用宛名ラベルが印刷できない場合】の記載見本

速 達	
切手	〒819-0395 福岡市西区元岡 744
書留・速達	九州大学学務部入試課 入試企画・広報係 御中
	出願番号：*****
	入試制度：総合型選抜Ⅰ（次世代研究者発掘入試Ⅰ）
	出願学部・学科等：〇〇学部
志願者情報：〒〇〇〇-〇〇〇〇 △△県□□市◇◇町 1-2-3 ☆☆ ☆☆	

② 提出が必要な出願書類等の封入

7 ページ及び 12 ページ記載の**提出が必要な出願書類等**を確認し、必要な書類等を封入してください。

③ 速達・書留郵便で送付

14 ページ記載の**1. (2) 出願期間等**の出願受付期間内に必ず到着するよう、**書留・速達**郵便で郵送してください。

日本国外からの出願の場合は、EMS (Express Mail Service) 等の最速の国際郵便で郵送してください。

※出願に関する注意事項

ア. 提出が必要な出願書類等に不備があるものは受理しません。

志願情報、出願書類等に虚偽があった場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

イ. 出願書類受理後は、いかなる事情があっても書類の返却及び変更並びに住所・連絡先以外の情報の変更は認めません。

ウ. 不明な点は、出願前に九州大学学務部入試課へ相談してください。

九州大学学務部入試課入試企画・広報係

T E L : 092-802-2006

3. 受験票の印刷について

- ① 次世代研究者発掘入試（総合型選抜Ⅰ）の受験票は、令和 8（2026）年 10 月 14 日（水）頃、インターネット出願の出願内容確認画面より印刷可能となります。受験票の印刷はパソコンから行うことを推奨します。

九州大学 出願内容確認画面

<https://exam-entry.52school.com/kyushu-u/mypage>



- ② 試験当日（第 2 次選抜：10 月 24 日（土））は、**本学の次世代研究者発掘入試（総合型選抜Ⅰ）受験票を必ず持参してください。**

- ③ 本学の次世代研究者発掘入試（総合型選抜Ⅰ）受験票は、試験成績の開示等の際に必要なため必ず保管しておいてください。

- ④ その他の注意点や試験会場の詳細については、本学 Web サイトに掲載しますので、事前に各自で必ず確認してください。なお、試験当日に監督者から注意事項の変更や追加の指示があった場合は、その指示に従ってください。

九州大学 Web サイト

トップページ > NEWS > 入試情報 > お知らせ

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/admissions/search?category=1>



4. 入学検定料の返還について

次の場合を除き、いかなる理由があっても既納の入学検定料は返還しません。

- ① 6 ページ及び 11 ページの「4. 入学者選抜方法」による第 1 次選抜を実施した結果、その不合格者に対して、13,000 円を返還します。
- ② 入学検定料納付後、提出が必要な出願書類等を送付しなかった場合及び出願書類等を受理できなかった場合は、全額返還します。

上記①に該当する場合は、第 1 次選抜結果通知の際に「返還請求書」等を送付しますので、書類作成の上、令和 8（2026）年 12 月 31 日（木）までに手続きを行ってください。

上記②に該当する場合は、九州大学学務部入試課入試企画・広報係（TEL 092-802-2006）へお問い合わせください。

5. 入学検定料の免除について

① 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは、次に該当する者です。

ア 東日本大震災、熊本地震、平成 30 年 7 月豪雨、北海道胆振東部地震、令和元年台風第 19 号、令和 2 年 7 月豪雨及び令和 6 年能登半島地震に被災した志願者で、次のいずれかに該当する者

- ㊦ 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、準半壊または準半壊に至らない損壊（一部損壊）と判断された場合、流失等した場合
- ㊧ 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合

イ 東日本大震災において、居住地为福島第一原子力発電所事故により、避難指示区域（計画的避難区域を含む）に指定された者

② 免除申請の手続

入学検定料の免除を受けようとする場合は、あらかじめ九州大学学務部入試課入試企画・広報係へ E-Mail または電話で連絡し、該当すると判断された者は、「入学検定料免除申請書」を九州大学 Web サイト（<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/admission/exemption>）からダウンロードのうえ、次のうちいずれかの証明書等を添えて「提出が必要な出願書類等」とともに提出してください。

なお、申請にあたっては、次の証明書が必要になります。

- ・ ①ア㊦に該当する場合 被災証明書
- ・ ①ア㊧に該当する場合 死亡又は行方不明を証明する書類
- ・ ①イに該当する場合 被災証明書

6. 障害等のある入学志願者の合理的配慮について

本学では、障害等のある者に対して、受験上及び修学上必要な配慮を行う場合があります、そのための相談を受け付けています。

日常生活において使用している補聴器、松葉杖、車椅子等の利用を希望する場合も、この相談の手続きを行ってください。

なお、20 ページ(3)に示すものは、この相談の手続は不要です。

受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することもありますので、相談の内容に応じて、次の期日までに相談してください。なお、期日を過ぎてから相談が必要となった場合は、九州大学学務部入試課（092-802-2006）へ連絡してください。

①「点字解答」又は「代筆解答」を希望する場合

令和8（2026）年8月25日（火）まで

② 上記①以外の配慮を希望する場合

令和8（2026）年9月4日（金）まで

※ 上記期日までに相談の無い場合や相談の内容によっては配慮が講じられない場合がありますので十分注意してください。

区 分	対象となる者	筆記試験における受験上の配慮の一例
① 視覚に関する配慮	- 点字による教育を受けている者 - 両眼の矯正視力がおおむね 0.3 未満、もしくは視力以外の視機能障害が高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 - 上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者	- 点字解答 - 拡大文字問題冊子の配付 - 試験時間の延長（1.3 倍） - 拡大鏡等の持参使用 - 窓側の明るい座席を指定 - 照明器具の持参使用又は試験室側での準備 - 色覚異常に配慮した試験問題の作成
② 聴覚に関する配慮	- 両耳の平均聴力レベルが 60 デシベル以上の者 - 上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者	- 手話通訳士等の配置 - 注意事項等の文書による伝達 - 座席を前列に指定 - 補聴器又は人工内耳の装用
③ 肢体不自由に関する配慮	- 体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 - 両上肢の機能障害が著しい者 - 上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者	- 代筆解答 - 試験時間の延長（1.3 倍） - 試験室入口までの付添者の同伴 - 介助者の配置 1 階又はエレベーターが利用可能な試験室に設定 - トイレに近い試験室で受験 - 車椅子、杖、特製机・椅子の持参使用又は試験場側での準備 - 試験場への乗用車での入構
④ 病弱に関する配慮	慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者	1 階又はエレベーターが利用可能な試験室に設定 - 座席を試験室の出入口に近いところに指定 - 別室の設定
⑤ 発達障害に関する配慮	学習障害、注意欠陥・多動症（注意欠陥多動性障害）、自閉スペクトラム症（自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障害等）等のため配慮を必要とする者	- 試験時間の延長（1.3 倍） - 拡大文字問題冊子の配付 - 注意事項等の文書による伝達 - 別室の設定
⑥ その他	①～⑤の区分以外の者で特別な配慮（面接時等の配慮を含む）を必要とする者	- トイレに近い試験室で受験 - 座席を試験室の出入口に近いところに指定 等

(1) 相談の方法

「九州大学入学試験における合理的配慮に関する事前相談申請書」及び「診断書」を九州大学 Web サイト (<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/admission/faculty/disabilities/>) からダウンロードのうえ、障害者手帳取得者は、その写しも添えて相談の申請をしてください。

診断書には、診断名、初診日付と最終診察日、具体的な症状とその経過、日常生活上特に修学上の支障の程度、試験の際に想定される問題と必要と考える支援について記載してください。

また、大学入学共通テストの受験上の配慮決定を受けた者は、独立行政法人大学入試センターからの「受験上の配慮事項決定通知書」の写しも提出してください。

(2) 連絡先

九州大学学務部入試課入試企画・広報係
TEL : 092-802-2006
〒819-0395 福岡市西区元岡 744

(3) 受験上の配慮を相談（申請）せずに使用できるもの

次のものは受験上の配慮の相談をせずに使用できます。

① サポーター、テーピング、包帯、湿布、ギプス、眼帯、コルセット

※試験時間中に着脱する場合は、監督者に申し出て許可を得てください。

② 白杖

※白杖以外の杖の持参使用を希望する場合は相談の手続が必要です。

以下の③については、試験開始前に監督者に申し出て許可を得てから使用してください。

③ 座椅子、クッション、タオル、ひざ掛け、手袋（多汗症用を含む）

※病気・負傷や障害等の為に試験開始前に監督者に申し出ることが困難な場合は、受験上の配慮の相談を申請することもできます。

※英文字や地図等がプリントされているものは使用しないでください。

7. 合格者発表

最終合格者については、**令和 8（2026）年 11 月 25 日（水）11 時頃**、受験番号を伊都キャンパスセンターゾーンビッグさんど前掲示板に掲示するとともに、同日に合格通知書を出願時に入力された住所あてに郵便で発送します。

また、合格者の受験番号を同日 12 時頃九州大学合格者発表専用 Web サイト (<https://goukaku.jimu.kyushu-u.ac.jp/>) に掲載します。これは、本学が情報提供の一環として行うものであり、公式の合格者の発表は、前述のとおりです。



電話による可否の問い合わせには応じません。

この入試では、当該学部のアドミッション・ポリシーに基づいて受験者の資質を評価・審査します。そのため、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

【注意】合格発表後、SNS 等で自身の合格を公開する行為にはリスクが伴う場合があります。勧誘などで悪用される可能性があるため、充分にご注意ください。

8. 入学手続

(1) 入学手続（主に入学料の納付手続等）

入学手続に必要な書類（主に入学料の納付手続関係等）は、合格通知書と同封にて、合格者に対して発送します。令和8（2026）年12月7日（月）13時から12月11日（金）17時までに「入学料の納付（Webでの支払手続き）」を完了させてください。詳細については、合格者に対して発送する書類でご確認ください。

※入学手続は、令和8（2026）年12月11日（金）17時をもって締め切ります。

なお、12月11日（金）17時以降に納付した場合は、いかなる理由があっても受理しません。

[参考]

① 入学料及び授業料について

入学料 282,000 円（予定）[入学手続時に納付]

授業料（前期分）267,900 円 [年額 535,800 円]（予定）[入学後に納付]

（注）上記の納入金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな入学料及び授業料が適用されます。

② 入学料免除・入学料徴収猶予（多子世帯無償化含む）について

本学では、国の「高等教育の修学支援制度（多子世帯無償化含む）」による入学料・授業料免除制度（以下、「新制度」という。）を実施しています。なお、新制度の応募資格外の方は「特別な事情」がある場合に限り、大学独自制度による免除・徴収猶予を実施します。

新制度は、学部生（留学生を除く）を対象に、学生本人からの申請に基づき選考の上、日本学生支援機構の給付奨学金の支給と入学料・授業料の減免が行われます。多子世帯向けの授業料等減免のみの希望者も、給付奨学金の申請が必要です。申請者は、減免結果が出るまで入学料等が徴収猶予されます。

1. 応募資格：日本学生支援機構の給付奨学金の申請者（予約採用候補者、在学採用申請者）
（新制度の申請要件等の詳細は、日本学生支援機構のHPをご確認ください。）
2. 免除額：入学料(282,000 円)・授業料(535,800 円)の全額、2/3 額免除、1/3 額免除
（給付奨学金の支援区分に応じて免除額が決定、多子世帯区分は全額免除）
3. 申請時期・方法 以下①②の両方の申請を完了すること。

① 【入学前・入学手続き時】本学への免除申請（事前申請）

※免除申請希望者は入学手続き時に入学料の納付はしないでください。

② 【入学後・4月上旬】日本学生支援機構の給付奨学金（学費免除含む）の申請（本申請）

②-1 高校時「予約採用」候補者：入学後速やかに「進学届」の提出を完了。又は

②-2 予約採用候補者以外：入学後4月上旬に「在学採用（春）」の申請を完了。

4. 本学からの選考結果通知：7月下旬頃

※2026年度から免除制度改正が改正されています。詳しくは、九州大学 Web サイト及び入学ガイドブック（2月頃 Web サイト掲載）を参照してください。

(2) 入学手続（入学料の納付以外の手続）

入学料の納付以外の入学手続に必要な書類については、令和 9（2027）年 2 月 10 日（水）頃、入学料の納付者（入学料免除又は徴収猶予申請者を含む）に対して発送します。

令和 9（2027）年 2 月 11 日（木）13 時から 2 月 17 日（水）17 時までに「①Web 入学手続（入学料の納付以外の手続）」及び「②入学手続書類の郵送」を完了させてください

(3) 留意事項

① 次世代研究者発掘入試の合格者が本学に入学手続を完了したときは、本学及び他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。）の一般選抜（前期日程・後期日程）を受験しても合格者とはなり得ません。

② 次世代研究者発掘入試の合格者が、極めて特殊な事情により入学を辞退しようとするときは、令和 8（2026）年 12 月 11 日（金）17 時までに、「入学辞退届（様式任意）」を提出してください。指定の日時までに入学辞退の手続を行わない場合または入学辞退届が受理されなかった場合は、本学及び他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。）の一般選抜（前期日程・後期日程）を受験しても合格者とはなり得ません。

（手続及び連絡先：九州大学学務部入試課入試企画・広報係 TEL：092-802-2006）

※公立大学協会 Web サイト（https://www.kodaikyo.org/?page_id=17050）参照

③ 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

④ 授業料は、入学後に納付することになります。

⑤ Web 入学手続ログイン時に、出願登録完了時に表示される「セキュリティコード」の入力が必要です。

9. 不正行為等の取扱い

① 次のことをすると不正行為となります。ただし、試験時の説明で認められている行為については、不正行為に該当しません。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以降の受験はできなくなります。また、受験した次世代研究者発掘入試Ⅰ（総合型選抜Ⅰ）の成績を無効にします。この場合、既納の入学検定料は返還しません。

共通事項

ア. インターネット出願において故意に虚偽の情報を登録したことにより、登録した情報をもとに作成される志願票、照合票に虚偽の内容があった場合や解答紙等へ故意に虚偽の記入（解答紙に本人以外の受験番号を記入することなど。）をすること。

イ. 志願者本人が作成する書類について、志願者以外の者（生成系 AI ツールを含む）が作成したもの、または剽窃等を行ったものを提出すること。

ウ. カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。

エ. 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。

オ. 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。

カ. 解答紙を試験室から持ち出すこと。

キ. 「解答始め。」の指示前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。

ク. 試験時間中に、電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッ

チやスマートグラス等)、タブレット端末、電子辞書、I Cレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等)を使用すること。

※ 通信機能のある電子機器類(携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末(スマートウォッチやスマートグラス等。)、タブレット端末等)は、かばんの中にしまっていないければ、電源が切られていても、使用しているものとし、不正行為となります(衣類のポケット等に入れていた場合も、使用しているものとし、不正行為となります)。

※ イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとし、不正行為となります。(試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請(18ページ)が必要です。)

ケ. 試験時間中に、定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む。)、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。

コ. 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

② 不正行為が合格後に判明した場合、合格を取り消します。この場合、入学検定料、入学料及び納入済みの授業料等は返還しません。

なお、当該不正行為が本学の入学者選抜の実施運営を著しく妨げたと判断した場合、警察に被害届を提出する場合があります。

③ 上記①以外にも、次のことをすると不正行為になることがあります。ただし、試験時の説明で認められている行為については、不正行為に該当しません。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記①及び②と同様です。

ア. 試験時間中に、定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む。)、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や電子機器類(電子辞書、I Cレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等)、教科書、参考書、辞書類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。

※ 通信機能のある電子機器類(携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末(スマートウォッチやスマートグラス等。)、タブレット端末等)は、かばんの中にしまっていないければ、電源が切られていても、使用しているものとし、不正行為となります。(衣類のポケット等に入れていた場合も、使用しているものとし、不正行為となります。)

イ. 試験時間中に携帯電話や時計等の音(着信・アラーム・振動音など。)を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。

ウ. 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申し出をすること。

エ. 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。

オ. 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。

カ. その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

10. 試験成績の開示

令和9(2027)年度次世代研究者発掘入試(総合型選抜Ⅰ)の試験成績について、受験者本人からの請求に限り、「第1次選抜」及び「第2次選抜」の成績(ABC評価)を郵送により開示します。

① 申請に必要なもの

- (1) 令和 9 (2027) 年度九州大学次世代研究者発掘入試 (総合型選抜 I) 成績開示申請書

※申請書は、令和 9 (2027) 年 4 月下旬頃より、本学 Web サイト
(<https://www.kyushu-u.ac.jp/>) からダウンロードできます。

- (2) 令和 9 (2027) 年度九州大学次世代研究者発掘入試 (総合型選抜 I) の受験票

※次世代研究者発掘入試 (総合型選抜 I) の受験票がない場合は、お問い合わせください。

- (3) 書留料金所定の切手を貼った返信用封筒 (長形 3 号)

※個人成績を記した書類を郵送するためのものです。必ず受験した本人宛にしてください。

② 申請に際しての注意事項

- (1) 申請は本学学務部入試課へ郵送又は本学学務部入試課窓口での申請も可能です。

申請窓口：九州大学学務部入試課

〒819-0395 福岡市西区元岡 744

- (2) 申請受付期間は、土・日・祝日を除く令和 9 (2027) 年 5 月 10 日 (月) ～ 6 月 4 日 (金) です。本学窓口での申請の受付は、9 時から 17 時まで (必着) です。

- (3) 申請は、必ず本人が行ってください。代理人への開示は行いません。

- (4) 郵送による申請の場合、封筒の表には「次世代研究者発掘入試 (総合型選抜 I) 成績開示申請」と朱書きしてください。

- (5) 次世代研究者発掘入試 (総合型選抜 I) 試験成績の開示は、申請受付後、3 週間以内に送付します。

窓口での申請の場合は、後日開示となります。

11. 個人用 PC (ノート型) の必携について

大学では、授業中に PC を使用するのはもちろん、自宅やその他の場所で PC を利用することになります。例えば、学習を進める上で必要な授業内容を記したシラバスや授業の教材、レポート課題・提出期限などの情報、また履修登録や成績の確認など、様々な情報がネットワークを経由して提供されるばかりでなく、レポート提出を PC から行う授業も多くあります。

そのため、本学では、個人用 PC (ノート型) が必携となっています。本学に入学の際は、PC を準備・購入していただくことになりますので、あらかじめお知らせします。

詳細については、今後、本学 Web サイトにてお知らせするとともに、合格者向け入学手続案内の「入学ガイドブック」に記載します。学部・学科によって PC の推奨スペック (必要な性能) が異なりますので、各学部・学科の該当する項を必ずご確認ください。

本学の学生には「Microsoft 365」(Word, Excel, PowerPoint 等) を在学中に限り大学が無償で提供しますので、これらを個別に購入、あるいは、PC とセットで購入する必要はありません。なお、これらのソフトウェアがあらかじめ入っていても支障はありません。おって、授業で円滑に学べるように、PC の環境を整えるための PC 設定作業についての案内をします。

問い合わせ先

【個人用 PC のスペックに関すること】

学務部教務課教務・学務情報係

E-mail : gapjoho@jimu.kyushu-u.ac.jp

【Microsoft 365 に関すること】

情報統括本部 情報共有基盤事業室

E-mail:ms365@iii.kyushu-u.ac.jp

1 2. 個人情報の取扱い

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）」等の法令を遵守するとともに、「九州大学個人情報管理規程」等学内の関係規定に基づいて取り扱います。

1. 出願時に取得した氏名、住所その他の個人情報は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学手続業務を行うために利用します。
2. 出願時に取得した個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討や大学教育の改善及び大学の管理運営（各種調査・分析、事業企画等）のために利用します。
3. 上記 1 及び 2 の各種業務での利用に当たっては、全部又は一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。この場合、受託業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだうえで、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報及び試験成績の全部又は一部を提供します。
4. 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、受験番号、大学入学共通テストの受験番号、合否及び入学手続に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。
5. 出願時に取得した個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収関係の業務を行うために利用します。

※本学のプライバシーポリシーについては以下の URL を参照ください。

【日本語】

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/website/privacypolicy>

【英語】

<https://www.kyushu-u.ac.jp/en/website/privacypolicy>

13. 修学場所について

1 年次は主に伊都キャンパスで基幹教育の授業を受けます。2 年次以降の各学部の授業の主たる修学場所は、各学部所在地となります。

学部授業の主たる修学場所

令和 8（2026）年 7 月現在

学部（学科） 実施時期	1 年次 (令和 9（2027）年度)	2 年次 (令和 10（2028）年度)	3 年次以降 (令和 11（2029）年度～)
共創・文・教育・法・経済・理・ 工（融合基礎工学科を除く）・農	伊都キャンパス		
工（融合基礎工学科）	伊都キャンパス		筑紫キャンパス
医・歯・薬	伊都キャンパス※	病院キャンパス	
芸工	伊都キャンパス	大橋キャンパス	

※歯学部は、前期及び後期の学期において、週に 1 回、病院キャンパスで授業が実施されます。

※薬学部は、後期の学期において、週に 1 回、病院キャンパスで授業が実施されます。

入学案内・入学相談・九州大学 Web サイト

九州大学では、受験者に本学の学部・学科の内容や入学者選抜方法をよく知っていただくために、アドミッションセンターを中心にして、次のような入学案内や入学相談を行います。

○ 電話による入学案内・入学相談

随時行います。九州大学学務部入試課入試企画・広報係へお問い合わせください。

問い合わせ先

九州大学学務部入試課入試企画・広報係

住 所：〒819-0395 福岡市西区元岡 744

T E L：092-802-2006, 2007

F A X：092-802-2008

E-mail：nyukikaku@jimui.kyushu-u.ac.jp

○ Web サイト

- ・九州大学 Web サイト <https://www.kyushu-u.ac.jp/>
- ・未来人材育成機構 Web サイト <https://mirai.kyushu-u.ac.jp/>
- ・工学部 Web サイト <https://www.eng.kyushu-u.ac.jp/>
- ・農学部 Web サイト <https://www.agr.kyushu-u.ac.jp/>

令和8年度 九州大学総合型選抜、学校推薦型選抜及び国際入試実施状況

	学部・学科等	募集 人員	志願者	受験者 ※1	合 格 者					志願者 女子数	合格者 女子数	合格者 男子比 ※3	合格者 女子比 ※3	入学者
					人数	倍率 ※2	県内	県外	その他					
総合 型 選 抜	共創学部	15	77	30	14	5.50	6	8	0	50	10	28.6	71.4	14
	文学部	10	15	15	10	1.50	5	5	0	10	8	20.0	80.0	10
	教育学部	7	26	16	7	3.71	4	3	0	19	6	14.3	85.7	7
	法学部	10	28	16	10	2.80	4	6	0	21	8	20.0	80.0	10
	経済学部	22	46	28	13	3.54	7	6	0	25	8	38.5	61.5	13
	理学部	34	123	112	34	3.62	9	25	0	47	12	64.7	35.3	34
	物理学科	7	21	20	7	3.00	1	6	0	5	2	71.4	28.6	7
	化学科	8	29	24	8	3.63	3	5	0	16	5	37.5	62.5	8
	地球惑星科学科	7	27	26	7	3.86	2	5	0	13	2	71.4	28.6	7
	数学科	7	23	22	7	3.29	2	5	0	1	0	100.0	0.0	7
	生物学科	5	23	20	5	4.60	1	4	0	12	3	40.0	60.0	5
	医学部・保健学科	22	78	54	18	4.33	11	7	0	68	16	11.1	88.9	18
	看護学専攻	10	50	29	10	5.00	6	4	0	47	9	10.0	90.0	10
	放射線技術科学専攻	6	21	19	6	3.50	4	2	0	14	5	16.7	83.3	6
	検査技術科学専攻	6	7	6	2	3.50	1	1	0	7	2	0.0	100.0	2
	歯学部	8	23	23	9	2.56	2	7	0	15	6	33.3	66.7	9
	工学部	47	113	87	39	2.90	17	22	0	35	11	71.8	28.2	39
	電気情報工学科	8	16	13	8	2.00	5	3	0	1	0	100.0	0.0	8
	材料工学科	3	8	7	3	2.67	1	2	0	4	2	33.3	66.7	3
	応用化学科	4	6	5	2	3.00	0	2	0	4	2	0.0	100.0	2
	化学工学科	2	7	7	2	3.50	2	0	0	4	2	0.0	100.0	2
	融合基礎工学科 物質材料コース	2	1	1	1	1.00	0	1	0	0	0	100.0	0.0	1
	融合基礎工学科 機械電気コース	2	4	4	2	2.00	1	1	0	1	0	100.0	0.0	2
	機械工学科	7	25	12	4	6.25	2	2	0	2	1	75.0	25.0	4
	量子物理工学科	2	3	3	2	1.50	2	0	0	0	0	100.0	0.0	2
	船舶海洋工学科	5	8	7	5	1.60	1	4	0	0	0	100.0	0.0	5
	地球資源システム工学科	2	1	1	0	—	0	0	0	1	0	—	—	0
	土木工学科	4	12	12	4	3.00	0	4	0	4	1	75.0	25.0	4
	建築学科	6	22	15	6	3.67	3	3	0	14	3	50.0	50.0	6
	芸術工学部・芸術工学科	55	166	141	54	3.07	29	25	0	93	31	42.6	57.4	53
	環境設計コース	7	22	21	7	3.14	5	2	0	14	4	42.9	57.1	7
	インダストリアルデザインコース	16	33	33	16	2.06	7	9	0	23	11	31.3	68.8	16
	未来構想デザインコース	5	4	4	4	1.00	3	1	0	3	3	25.0	75.0	4
	メディアデザインコース	22	72	63	22	3.27	13	9	0	43	12	45.5	54.5	21
	音響設計コース	5	35	20	5	7.00	1	4	0	10	1	80.0	20.0	5
	農学部	24	107	60	24	4.46	5	19	0	60	13	45.8	54.2	23
	小計	254	802	582	232	3.46	99	133	0	443	129	44.4	55.6	230
推薦	共創学部	15	30	30	15	2.00	5	10	0	22	12	20.0	80.0	15
	文学部	10	21	21	10	2.10	4	6	0	15	8	20.0	80.0	10
	歯学部	8	30	27	6	5.00	4	2	0	15	4	33.3	66.7	6
	芸術工学部・芸術工学科	13	43	35	13	3.31	3	10	0	29	8	38.5	61.5	13
	インダストリアルデザインコース	8	32	24	8	4.00	2	6	0	20	4	50.0	50.0	8
	未来構想デザインコース	5	11	11	5	2.20	1	4	0	9	4	20.0	80.0	5
	小計	46	124	92	44	2.82	16	28	0	81	32	27.3	72.7	44
国際	教育学部	3	5	4	0	—	—	—	—	2	—	—	—	—
	合計(総合+推薦+国際)	303	931	699	276	3.37	115	161	0	526	161	41.7	58.3	274

※1 受験者数は、第2次選抜の受験者である

※2 倍率については、小数点以下第3位を四捨五入

※3 合格者の男女比については、小数点以下第2位を四捨五入

添 付 書 類

次のページから以下の書類が添付してあります。

【工学部】

- 活動歴報告書・研究計画書（様式 1：6 ページ（両面 3 枚））
- 志望理由書（様式 2：3 ページ（両面 2 枚））
- 出願要件証明書

【農学部】

- 活動歴報告書・研究計画書（様式 1：6 ページ（両面 3 枚））
- 志望理由書（様式 2：3 ページ（両面 2 枚））
- 出願要件証明書

- ※ 本様式を手書きで作成し、出願期間内に必着するよう郵送してください。
- ※ 必ず**令和 9（2027）年度**の様式を使用してください。
- ※ 所定の様式を変更することはできません。（行の追加や用紙の追加等）
- ※ 摩擦等で消えるボールペンは使用できません。
- ※ 志願者以外の者（生成系 AI ツールを含む）により作成したことが認められる場合や剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を取り消すことがあります。

令和 9（2027）年度 九州大学工学部

次世代研究者発掘入試 I

活動歴報告書・研究計画書

2026 年 月 日記入

志望学科	志望コース・分野

ふりがな

志願者氏名

(西 暦) 年 月 日生

次の項目について、手書きまたはパソコン等を用いて記入してください。

1. これまでの研究活動

高等学校在学中に取り組んだ研究活動について、以下の内容を含めて記述してください（図表等を含めて A4 で 3 枚以内）。

- (a) 活動を行おうとした動機
- (b) 活動の具体的内容と自分の役割（複数人の場合）
- (c) 得られた成果とその意義

2. 本コース入学後、どのような課題に取り組みたいのか、以下の内容を含めて、具体的に記述してください。（図表等を含めて A4 で 2 枚以内）

- (a) 課題の概要と背景
- (b) その課題を重要と考える理由（社会的・学問的意義や高校までの活動との関連）
- (c) その課題に取り組むための、学部ならびに大学院での学習・研究計画

※作成にあたっての注意事項

- ・所定のページ内であれば、文章だけでなく図面や数式等の記載可（図面はカラーも可）。
- ・パソコンにて作成する場合、フォントサイズは 11pt 以上、見やすさを考慮すること。

1. これまでの研究活動

高等学校在学中に取り組んだ研究活動について、以下の内容を含めて記述してください
(図表等を含めて A4 で 3 枚以内)。

- (a) 活動を行おうとした動機
- (b) 活動の具体的内容と自分の役割 (複数人の場合)
- (c) 得られた成果とその意義

志願者氏名 _____

志願者氏名 _____

2. 本コース入学後、どのような課題に取り組みたいのか、以下の内容を含めて、具体的に記述してください。（図表等を含めて A4 で 2 枚以内）

- (a) 課題の概要と背景
- (b) その課題を重要と考える理由（社会的・学問的意義や高校までの活動との関連）
- (c) その課題に取り組むための、学部ならびに大学院での学習・研究計画

志願者氏名 _____

次世代研究者発掘入試Ⅰ

次世代研究者発掘入試Ⅰ

フリガナ	
志願者氏名	

次の項目について、志願者本人が自らの考えを基に作成し、自筆で記述してください。

※ 鉛筆使用可（B程度），摩擦等で消えるボールペンは使用できません。

・学部ならびに本コースへの入学を希望する理由を記述してください。(横書きで 1500 字程度)

[illegible]

志願者氏名 _____

[illegible]

A full page of blank graph paper with a uniform grid of small squares. The grid consists of 20 columns and 20 rows, creating a total of 400 small square units. The lines are thin and black, set against a white background. There are no margins, text, or other markings on the page.

あなたは本コースの趣旨を理解のうえ、明確な入学意思を持っていますか。ある場合には、下記に**自筆**で署名してください。（鉛筆及び摩擦等で消えるボールペンは使用できません。）

年 月 日 署名

令和9年度 九州大学 次世代研究者発掘入試Ⅰ（総合型選抜Ⅰ）

出願要件証明書

フリガナ 志願者氏名			
学生募集要項「P4 及び P10 2. 出願資格及び出願要件のア」記載の①～⑧について該当する項目をチェックしてください。複数ある場合には必ず複数チェックすること。 また、研究タイトル及び受賞した入賞実績等を記載してください。 なお、出願要件①～⑦に該当する場合は参加や進出を証明する資料（主催者等の公的立場の人物が示した書類かつ志願者本人の名前が含まれている）を添付すること。 出願要件⑧に該当する場合には公的に証明する資料を提出すること。			
☐	①サイエンスカンファレンス（高校の部）発表 （グローバルサイエンスキャンパス（GSC）全国受講生研究発表会の出場者）	年度	出場
☐	②スーパーサイエンスハイスクール（SSH） 生徒研究発表会（文部科学省等主催）の出場者	年度	出場
☐	③国際学生科学技術フェア（ISEF）の参加者	年度	参加
☐	④日本学生科学賞の中央最終審査進出者	年度 年度	入選 最終審査進出
☐	⑤高校生・高専生科学技術チャレンジ（JSEC） 最終審査進出者	年度	最終審査進出
☐	⑥国際科学オリンピック（数学、物理、化学、 生物学等）において、日本代表として世界大会 に出場した者	年度	出場
☐	⑦「九州大学未来創成科学者育成プロジェクト（QFC-SP） リサーチコース修了者（修了見込みの者を含む）	年度	修了（見込み）
☐	⑧上記以外の自由研究や課題研究で①～⑦と同等の優れた発表を公的に証明できる者		
研究タイトル： 入賞実績等： （発表会・コンテスト・学会等に出場した場合、若しくは自由研究又は課題研究を行った場合は、その研究タイトルを記載してください。また入賞実績等を記載してください。） 上記①～⑥及び⑧の発表会やコンテスト等において、複数人で発表・研究した場合は、実際の発表・研究の人数を記載してください。 人			

上記の者は、令和9年度九州大学次世代研究者発掘入試Ⅰ（総合型選抜Ⅰ）の出願要件を満たす者であることを証明する

令和 年 月 日

学校名

所在地

学校長名

印

令和 9（2027）年度 九州大学農学部

次世代研究者発掘入試 I

活動歴報告書・研究計画書

2026 年 月 日記入

志望コース	志望分野

ふりがな

志願者氏名

(西 暦) 年 月 日生

次の項目について、手書きまたはパソコン等を用いて記入してください。

1. これまでの研究活動

高等学校在学中に取り組んだ研究活動について、以下の内容を含めて記述してください
(図表等を含めて A4 で 3 枚以内)。

- (a) 活動を行おうとした動機
- (b) 活動の具体的内容と自分の役割 (複数人の場合)
- (c) 得られた成果とその意義

2. 本コース入学後、どのような課題に取り組みたいのか、以下の内容を含めて、具体的に記述してください。(図表等を含めて A4 で 2 枚以内)

- (a) 課題の概要と背景
- (b) その課題を重要と考える理由 (社会的・学問的意義や高校までの活動との関連)
- (c) その課題に取り組むための、学部ならびに大学院での学習・研究計画

1. これまでの研究活動

高等学校在学中に取り組んだ研究活動について、以下の内容を含めて記述してください
(図表等を含めて A4 で 3 枚以内)。

- (a) 活動を行おうとした動機
- (b) 活動の具体的内容と自分の役割 (複数人の場合)
- (c) 得られた成果とその意義

志願者氏名 _____

志願者氏名 _____

2. 本コース入学後、どのような課題に取り組みたいのか、以下の内容を含めて、具体的に記述してください。（図表等を含めて A4 で 2 枚以内）

- (a) 課題の概要と背景
- (b) その課題を重要と考える理由（社会的・学問的意義や高校までの活動との関連）
- (c) その課題に取り組むための、学部ならびに大学院での学習・研究計画

志願者氏名 _____

次世代研究者発掘入試Ⅰ

フリガナ

志願者氏名

次の項目について、志願者本人が自らの考えを基に作成し、自筆で記述してください。

・学部ならびに本コースへの入学を希望する理由を記述してください。(横書きで 1500 字程度)

[illegible]

志願者氏名

[illegible]

志願者氏名

[illegible]

あなたは本コースの趣旨を理解のうえ、明確な入学意思を持っていますか。ある場合には、下記に**自筆**で署名してください。（鉛筆及び摩擦等で消えるボールペンは使用できません。）

年 月 日 署名

令和9年度 九州大学 次世代研究者発掘入試Ⅰ（総合型選抜Ⅰ）

出願要件証明書

フリガナ 志願者氏名			
学生募集要項「P4 及び P10 2. 出願資格及び出願要件のア」記載の①～⑧について該当する項目をチェックしてください。複数ある場合には必ず複数チェックすること。 また、研究タイトル及び受賞した入賞実績等を記載してください。 なお、出願要件①～⑦に該当する場合は参加や進出を証明する資料（主催者等の公的立場の人物が示した書類かつ志願者本人の名前が含まれている）を添付すること。 出願要件⑧に該当する場合には公的に証明する資料を提出すること。			
☐	①サイエンスカンファレンス（高校の部）発表 （グローバルサイエンスキャンパス（GSC）全国受講生研究発表会の出場者）	年度	出場
☐	②スーパーサイエンスハイスクール（SSH） 生徒研究発表会（文部科学省等主催）の出場者	年度	出場
☐	③国際学生科学技術フェア（ISEF）の参加者	年度	参加
☐	④日本学生科学賞の中央最終審査進出者	年度 年度	入選 最終審査進出
☐	⑤高校生・高専生科学技術チャレンジ（JSEC） 最終審査進出者	年度	最終審査進出
☐	⑥国際科学オリンピック（数学、物理、化学、 生物学等）において、日本代表として世界大会 に出場した者	年度	出場
☐	⑦「九州大学未来創成科学者育成プロジェクト（QFC-SP） リサーチコース修了者（修了見込みの者を含む）	年度	修了（見込み）
☐	⑧上記以外の自由研究や課題研究で①～⑦と同等の優れた発表を公的に証明できる者		
研究タイトル： 入賞実績等： （発表会・コンテスト・学会等に出場した場合、若しくは自由研究又は課題研究を行った場合は、その研究タイトルを記載してください。また入賞実績等を記載してください。） 上記①～⑥及び⑧の発表会やコンテスト等において、複数人で発表・研究した場合は、実際の発表・研究の人数を記載してください。 人			

上記の者は、令和9年度九州大学次世代研究者発掘入試Ⅰ（総合型選抜Ⅰ）の出願要件を満たす者であることを証明する

令和 年 月 日

学校名

所在地

学校長名

印